

2010. 1-3

ART NEWS TOKYO



杏×江戸東京博物館



アート・ニュース・トーキョー  
東京+アート+カルチャー

(財)東京都歴史文化財団はつぎの施設を管理運営しています。

東京都庭園美術館  
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

東京都江戸東京博物館  
TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM

江戸東京たてもの園  
EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

東京都写真美術館  
TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY

東京都現代美術館  
MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO

東京都美術館  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京文化会館  
TOKYO BUNKA KAIKAN

東京芸術劇場  
TOKYO METROPOLITAN ART SPACE

トーキョーワンダーサイト  
TOKYO WONDER SITE

財団法人 東京都歴史文化財団  
TOKYO METROPOLITAN  
FOUNDATION FOR  
HISTORY AND CULTURE



「トーキョー・アート・ナビゲーション」  
携帯サイトへGO!  
(財)東京都歴史文化財団各施設の情報を  
チェックできます → [tokyoartnavi.jp](http://tokyoartnavi.jp)

ART NEWS TOKYO 2010.1-3 発行日:2010年1月1日(季刊)4.7.10月発行)発行:財団法人東京都歴史文化財団 東京都豊田区豊洲1-4-1 TEL:03-5610-3503 企画:財団法人東京都歴史文化財団 事務局長 藤原公広 編集:藤原千穂、浜野敦子、平野節子(ひらのふみこ) 取材:文:三木寛代、木谷節子 撮影:菅原(菅原) 福田栄美子 印刷:製本:佐伯印刷株式会社  
アート・ニュース・トーキョー 東京+アート+カルチャー  
© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture 本誌掲載の記事、写真の無断複製、複製を禁じます。

# 歴史通の杏さんを惹きつける 江戸東京博物館の“ツボ”とは？

大の歴史好きで、特に幕末や新選組に詳しいモデル・女優の杏さん。江戸博のリピーターでもある彼女が、その魅力を熱く語ってくれました。

江戸と東京のつながりを  
体感できるのが楽しい



小さい頃から日本の古い文化に関心があって、幼稚園の卒園文集のなかで将来の夢について「着物を着て絵を描く人になりたい」って書いていたんです。ほかの子は「お花屋さん」とか「お菓子屋さん」とか言っている年頃なのに、おかしいですね(笑)。本格的に歴史にハマり始めたのは、中学の終わりくらいだったと思います。歴史の授業が面白くなってきたところに、世間でもちょうど「幕末ブーム」が起こって。新選組や坂本龍馬などに関する書籍やマンガがたくさん出版された時期と重なり、そういったきっかけから歴史ものを活字で読むようになりました。今は特に新選組について興味があり、本を読むだけでなく資料館や博物館に足を運んだり、ゆかりの地を巡ったりもしています。若くてエネルギー豊富な人たちが高い志を持ってひとつの場所に集い、その若さで国をも動かした、そんなとてつもないパワーや、幕末という時代の大きなうねりのようなものに強く心惹かれるんです。

そんな私にとって、江戸東京博物館はまさに“ツボ”。初めて来たのは学校の課外授業だと思うのですが、ここ数年はかなり通い詰めています。常設展では、当時の長屋などを原寸大で復元している大型模型も毎回

じっくり見てしまいます。体験型の展示や図書室、ショップなども充実していて、一日中いても飽きません。江戸と呼ばれる時代から東京という街がどのように移り変わってきたのか、さまざまな角度から体験・体感できるよう工夫されていて、幕末の人たちが生きた時代と、現代とが“つながっている”ということを実感できるのも、この魅力です。

特別展も毎回「見逃すと後悔する」ものばかり。特に印象的だったのは、2007年の『文豪・夏目漱石—そのこころとまなざし—』展です。自筆の絵画や書などの資料が豊富に展示されていました。文豪としてだけでなく、その人となりや思考など、教科書には載っていない漱石の一面を知ることができて、とても興味深い展覧会でした。あとは浮世絵が好きなので、『北斎—ヨーロッパを魅了した江戸の絵師』(’07)、『ポストン美術館浮世絵名品展』(’08)なども見に行きました。ことに江戸や日本だけでなく海外の文化を紹介する特別展が開催される、そのバランスも絶妙です。

江戸東京博物館は、老若男女どんな方でもそれぞれの楽しみ方を見つけられる場所だと思うので、ぜひ気軽に足を運んでみてほしいです。



## PROFILE

**あん** 1986年、東京都生まれ。15歳でモデルデビューを果たし、海外のコレクションにも数多く出演。’06年、『Newsweek誌』の「世界が尊敬する日本人100人」に選出され、世界的に注目を集める。’07年のスペシャル・ドラマ「天国と地獄」で女優としてもデビューを果たし、以降、『天地人』、『華麗なるスパイ』、『サムライ・ハイスクール』など話題のドラマに次々と出演している。

## 東京都江戸東京博物館

両国駅前に建つ江戸東京博物館は、1993年に開館した、江戸と東京の歴史や文化を紹介する施設。常設展示室は、約9000平方メートルもの広い空間に、日本橋や中村座といった原寸大の大型模型が並ぶ。年に4～5回の特別展示が開かれる企画展示室では、国内外の名品や偉人をテーマにした展覧会を見ることが出来る。また、図書室や映像ホール、映像ライブラリーといった学習施設、そしてミュージアムショップやレストランも充実している。



《鷹形金冠飾り》 戦国時代(B.C.403-221) 金製 内モンゴル博物院所蔵

## 特別展

### チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展

2月2日(火) — 4月11日(日)

#### 謎に包まれたチンギス・ハーンと 世界最大のモンゴル帝国に迫る

1206年、チンギス・ハーンはモンゴル帝国を建国しました。13世紀後半、子孫のフビライ(元の初代皇帝)の時代になると、その領土は、中国全土はもちろん、南はベトナム、北はモスクワ、西は地中海へと広がり、世界最大の帝国となりました。このモンゴル帝国の祖、チンギス・ハーンを中心に、モンゴル民族の至宝を日本で初めて公開するのが本展です。日本でもよく知られるチンギス・ハーンは、今までもたびたび小説や映画の主人公になってきましたが、実は彼の生涯は、いまだ謎に包まれています。その謎を解き明かすべく、北方遊牧民族やモンゴル帝国に関する美術品を中心に、資料13万点を所蔵する中華人民共和国内モンゴル博物院の協力により、モンゴル帝国の足跡をたどります。チンギス・ハーンが登場するまでの北方遊牧民族の勢力図や、モンゴル帝国が建国されてからの歴史的文物、そして帝国が縮小され、明・清時代になった後につくられた遺物などによって、その壮大な歴史口マンを感じてください。



《戦闘用鞍》 伝チンギス・ハーン所用  
内モンゴル自治区チンギス・ハーン陵所蔵



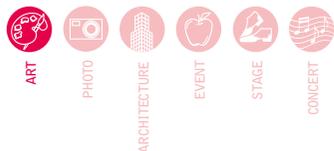
《龍が彫ってある玉座》 清代(17C~20C)  
内モンゴル自治区アラシャン盟ホショト  
旗親王府の遺品 内モンゴル博物院所蔵

**入場料** 一般1,300(1,040)円、学生1,040(830)円、小中高生と65歳以上650(520)円。  
( )内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

**会場** 東京都江戸東京博物館 1階展示室

**休館** 月曜日(祝日の場合は翌日)

**主催** (財)東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、テレビ朝日、産経新聞社、東映



#### ココが見どころ!

今回の展覧会で目をひくもののひとつが、美しい金製品です。とくに《鷹形金冠飾り》は、鷹をはじめ羊や馬、狼を用いた動物のモチーフが特徴的です。権力者の象徴となった冠ですが、現代の私たちにはどこか親しみを感じさせるデザインになっていると思います。

東京都江戸東京博物館 学芸員 我妻直美

#### おすすめスポット

##### 映像ライブラリー

江戸・東京の歴史や文化を今に伝える当館オリジナルの映像作品を中心に、専用端末でご覧いただける映像ライブラリーは、開館以来の人気スポット。2008年12月に、B1Fから7Fの図書室内に移転し、リニューアルオープンしました。作品リストは当館ホームページにも掲載しております。図書室やレストランのお帰りに、ぜひお立ち寄りください!

開室時間: 9:30~17:30 (受付は17:00まで) 料金: 無料





フランチェスコ・ジョーリ《水運びの娘》(1891年)  
油彩、カンヴァス フィレンツェ貯蓄財団蔵

## イタリアの印象派 マッキアイオーリ展

1月16日(土) — 3月14日(日)

19世紀、国家統一運動と結びついた  
知られざるイタリア美術

「マッキアイオーリ」とは、19世紀イタリア・トスカナ地方で興った、「マッキア」と呼ばれる大胆な色斑を用いて光と影を強調した絵を描いた美術の流れを指します。画家たちの活動は、同じく色斑を用いた描法で知られるフランス印象派に先駆けるものでした。当時イタリアは、リソルジメント(国家統一運動)の熱い気運の中にあり、芸術家たちも、自由と独立の理想を掲げた反アカデミズム運動を各地で繰り広げていました。その中のひとつが、1850年代にフィレンツェを中心に興った、「マッキアイオーリ」の運動です。彼らは、「マッキア」による光や色彩、明暗を駆使して、イタリアの日常生活や、同時代の歴史的イベント、そして雄大な祖国の自然をいきいきと描いていったのです。本展は、この「マッキアイオーリ」の全貌を、ほとんどが日本初公開という珠玉の作品60点余りでたどります。世界的に再評価されつつある彼らの作品を、日本では30年ぶりに紹介します。

**入場料** 一般1,000(800)円、大学生800(640)円、小中高生と65歳以上500(400)円。  
( )内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。  
第3水曜日は、65歳以上の方は無料。

**会場** 東京都庭園美術館  
**休館** 第2・4水曜日(祝日の場合は翌日)  
**主催** (財)東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、イタリア文化会館、フィレンツェ美術館特別監督局、伊日財団、読売新聞社、美術館連絡協議会

**特別後援** イタリア共和国大統領  
**後援** イタリア外務省、イタリア文化財・文化活動省、東京都  
**協賛** ライオン、清水建設、大日本印刷  
**協力** トスカナ州、リヴォルノ県、リヴォルノ市、フィレンツェ商工会議所、リヴォルノ商工会議所、フィレンツェ貯蓄財団、ゲラルディーニ、ドラーゴ・コミュニケーションス、オペラ・ラボラトリー・フィレンティニー



アドolfo・トムマージ《田園詩(逢瀬)》  
(1884年) 油彩、カンヴァス  
フィレンツェ貯蓄財団蔵



テレマコ・シニョリーニ  
《8月末のピエトラマラー》(1889年)  
油彩、カンヴァス  
フィレンツェ、ピッティ宮殿近代美術館蔵



ジョヴァンニ・ファットーリ  
《休憩(ローマの荷馬車)》(1872-73年頃)  
油彩、板  
フィレンツェ、ピッティ宮殿近代美術館蔵



### ココが見どころ!

「マッキアイオーリ」の作品は、さまざまな美術館やコレクターが所蔵しているため、イタリア本国でさえこれだけの数を一堂に会して見ることはできません。それを日本で公開するというのはとても貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

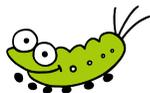
東京都庭園美術館 学芸員 牟田行秀

### おすすめスポット

#### 観桜の隠れた名所

冬の庭園は、2月に梅が咲くと、よい香りで華やぎます。その後、辛夷(こぶし)やクリスマスローズなどが見ごろを迎え、3月末にはお待ちかねの桜です。正門から美術館までのアプローチのほか、西洋庭園の中には里帰りした「ワシントンの桜」も植えられています。宴会はご遠慮いただいておりますが、知る人ぞ知るお花見の名所として愛されています。





《土製耳飾》(縄文時代晩期) 下布田遺跡(東京都調布市)出土 江戸東京たてもの園蔵 国指定重要文化財

## 旧武蔵野郷土館

～モノでつづる武蔵野の歴史～

1月5日(火)ー3月7日(日)

優れた考古資料で  
武蔵野の数万年の歴史をたどる

江戸東京たてもの園の前身、武蔵野郷土館が収集した考古資料の優品を紹介します。武蔵野郷土館は、1954(昭和29)年に都立小金井公園内に開設された、当時としては珍しく館内展示と屋外展示を併設する博物館でした。館内展示室には、歴史・民俗資料のほか、学芸員らが発掘・収集した考古資料が展示され、屋外には「古代の村」や「江戸の村」が再現されていました。とくに1950～70年代に発掘された考古資料は、当時の学界をリードする学術的価値の高いものであると同時に、武蔵野の成り立ちやその変遷を考える上で欠くことのできない資料です。その優れた資料を、旧石器時代から古墳時代、中世、近世と数万年にわたる人々の暮らしの中で一望します。なかでも縄文時代の耳飾や土偶、土器などは、その独特な造形美がひととき目をひきます。そうした美的センスのルーツも含めて、かつてこの地に生きた人々に思いを馳せてみませんか？



《土偶》(縄文時代後期)  
赤塚城址貝塚(東京都板橋区)出土  
江戸東京たてもの園蔵



《深鉢形土器》(縄文時代中期)  
塚山遺跡(東京都杉並区)出土  
江戸東京たてもの園蔵

**入場料** 一般400(320)円、学生320(250)円、中学生(都外)、高校生と65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。( )内は20名以上の団体料金。  
身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。

**会場** 江戸東京たてもの園  
**休園** 月曜日(祝日の場合は翌日)  
**主催** 東京都 江戸東京たてもの園



### ココが見どころ!

大きな大きな《土製耳飾》(直径なんと8cm!)は縄文時代の作品。表面にほどこされた優美で繊細な装飾をぜひ間近でご覧下さい。その洗練されたデザイン感覚が私たちの感性を刺激します。「歴史?」「古い!」「難しい…」といった先入観を捨て去り、時空を越えた「美」の世界をご堪能ください。 江戸東京たてもの園 学芸員 浅川範之

### おすすめスポット

#### ミュージアムショップ&カフェ

お客様の出入り口となるビジターセンター(旧光華殿)にありましたミュージアムショップが、ショップ&カフェとして生まれ変わりました。ミュージアムショップでは、たてもの園のマスコット「えどまる」関連のグッズやオリジナル手ぬぐいが人気です。カフェでは各種飲み物や無添加のアイスクリームなどが楽しめます。小金井公園の緑を眺めながらゆっくりくつろいでみませんか。 TEL: 042-316-1105





なにものかへのレクイエム《記憶のパレード／1945年アメリカ》(2010年)

## 森村泰昌・なにものかへのレクイエム —戦場の頂上の芸術—

3月11日(木) — 5月9日(日)

森村泰昌が演じる20世紀の歴史と記憶  
完全版で大公開

歴史上の人物や女優などに扮したセルフポートレートで知られる現代美術家・森村泰昌。そんな彼が2006年より取り組んできたシリーズが「なにものかへのレクイエム」です。これまで森村は、自ら三島由紀夫やレーニンなど20世紀の歴史的な人物となって、その印象的な一場面を写真や映像におさめてきました。今回はこのシリーズを完全版で通覧します。森村が加えた歴史の新解釈によって、激動の20世紀を改めて考え直してみるきっかけとなることでしょう。

**入場料:** 一般1,000(800)円、学生800(640)円、中高生と65歳以上600(480)円。( )内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害のある方とその付添者1名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。 **会場:** 東京都写真美術館 2階、3階展示室 **休館:** 月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、東京新聞



なにものかへのレクイエム《創造の劇場(マルセル・デュシャン)》(2010年)

## 第2回 恵比寿映像祭 歌をさがして

2月19日(金) — 28日(日)

恵比寿映像祭とは、年に1度、10日間にわたって、東京都写真美術館で繰り広げられる「映像」と「アート」のフェスティバルです。今年度は「歌をさがして」というテーマで、さまざまな映像表現を考えます。恵比寿ガーデンプレイスの「センター広場」では、光と影をテーマにした体験型のアート作品も展示します。より多くの人々に映像やアートの楽しさを伝えます。

**入場料:** 無料(※ただし定員制の上映プログラム、イベント等については有料) **会場:** 東京都写真美術館、恵比寿ガーデンプレイスセンター広場ほか **休館:** 無休 **主催:** 東京都写真美術館・東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、日本経済新聞社



藤本隆行(dumb type)  
シンガポール・ビエンナーレ2008における  
LEDインスタレーション  
(中谷美子とのコラボレーション)  
©Fujimoto Takayuki [参考図版]



### ココが見どころ!

森村泰昌の最新シリーズ「なにものかへのレクイエム」の全貌をご覧ください。20世紀の男達をテーマとした作品には、笑いやユーモア、同時に過去を現在と重ね合わせたシリアスな文明批判も読み取れます。性別や時代などあらゆる境界を超えて人々を刺激するモリムラワールドをお楽しみください。 東京都写真美術館 学芸員 石田哲朗

### おすすめスポット

#### カフェ「シャンブル クレール」

1階と2階にあるカフェ「シャンブル クレール」では、ベルギー直輸入ビール、軽食や季節のスイーツなどを提供しています。2階は吹き抜ける開放感ある空間で、鑑賞中の休憩や待ち合わせなどに利用できます。また恵比寿映像祭や森村泰昌展の期間中は、大型スクリーンで映像作品をご覧ください。

**営業時間:** 10:00~18:00 (1階~20:00、日曜は~18:00) **TEL:** 03-5798-2218





黒田潔 (ONIGAMI) (2008年) ナム・ジュン・バイク・アートセンターの「NOW JUMP」における壁画

## MOTアニュアル 2010: 装飾

2月6日(土)―4月11日(日)

「装飾」をテーマに多彩な表現が展開する  
「MOTアニュアル」

「MOTアニュアル」は、同時代の若手アーティストを紹介する展覧会です。10回目を迎えた今年のテーマは「装飾」です。繊細、あるいはダイナミックに、東京都現代美術館の空間が10名の精鋭たちによる「装飾」で満たされます。出品作家: 青木克世、小川教生、黒田潔、塩保朋子、野老朝雄、松本尚、水田寛、森淳一、山本基、横内賢太郎

**入場料:** 一般1,000(800)円、大学生・65歳以上800(640)円、中学生500(400)円。( )内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。**会場:** 東京都現代美術館 企画展示室1階 **休館:** 月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



青木克世 (予知夢区)  
private collection, Taipei  
Courtesy of Röntgenwerke



横内賢太郎 (Book-tear 2007)  
東京都現代美術館蔵

## 文化庁メディア芸術祭協賛事業 サイバーアーツジャパン ―アルスエレクトロニカの30年

2月2日(火)―3月22日(月・祝)

「アルスエレクトロニカ」とは、毎年オーストリアのリンツで開催される、世界的に知られたメディアアートの祭典です。その30周年を記念した本展では、受賞作を中心に、日本のアート&テクノロジー/サイエンス、メディア芸術領域を特集した展示を行います。科学と芸術の表現の可能性をお楽しみください。

**入場料:** 一般1,000(800)円、大学生・65歳以上800(640)円、中学生500(400)円。( )内は20名以上の団体料金。小学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者2名は無料。第3水曜日は、65歳以上の方は無料。**会場:** 東京都現代美術館 企画展示室地下2階、アトリウム **休館:** 月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:** (財)東京都歴史文化財団 東京都現代美術館



野口靖+安藤英由樹 (Watch Me!)  
©Yasushi Noguchi + Hideyuki Ando  
アルスエレクトロニカ・グランプリ2009入賞



### ココが見どころ!

「MOTアニュアル」は、時代と結びついたキーワードを通し、現代日本の新しい造形表現の動向を毎年取り上げています。10年目となる今回は「装飾」をテーマとし、その造形形式を持つエモーショナルな訴求力を通じて表現を行う、幅広い分野のアーティストを紹介します。

東京都現代美術館 学芸員 関 昭郎

### おすすめスポット

#### ミュージアムショップ「ナディッフ コンテンポラリー」

2009年3月の美術館リニューアルに伴い、ミュージアムショップも新しく変わりました。白く明るい店内では、その時々々の展覧会に関連する書籍や、アートグッズなどを豊富に取り揃えていますので、おみやげを探すのにも最適です。ユニークなものも多く、美術館のスタッフにも人気です。

**営業時間:** 10:00~18:00 **TEL:** 03-3643-0798





ラファエロ・サンツィオ《一角獣を抱く貴婦人》(1506年頃)

## ボルゲーゼ美術館展

1月16日(土)―4月4日(日)

ルネサンス・バロック美術の宝庫から  
珠玉のコレクションが来日

ローマ市の北東部に位置する広大なボルゲーゼ公園。その中にあるボルゲーゼ美術館の所蔵品は、17世紀の大パトロンであり、教皇パウルス5世の甥でもあったシピオーネ・ボルゲーゼ枢機卿のコレクションが核となっています。今回は、ルネサンス・バロック美術の宝庫と呼ばれるボルゲーゼ家歴代のコレクションから、選りすぐりの約50点を紹介します。なかでも注目したいのは、ルネサンス期の天才画家ラファエロ・サンツィオの《一角獣を抱く貴婦人》。レオナルド・ダ・ヴィンチの影響もみられるこの作品は、ラファエロが20代前半で描いた作品です。また、シピオーネ枢機卿と同時代の人で、実際に彼が支援していたカラヴァッジョの作品も見逃せません。展覧会では38歳で亡くなったカラヴァッジョの、最晩年の代表作《洗礼者ヨハネ》なども出品されます。闇の中に浮かび上がる、けだるそうな聖ヨハネ。一世を風靡したカラヴァッジョ、そしてドラマチックな光と影の世界をお楽しみください。



ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ  
《シピオーネ・ボルゲーゼ枢機卿の胸像》  
(1632年)



カラヴァッジョ《洗礼者ヨハネ》  
(1609-10年)

**入場料** 一般1,400(1,100)円、学生1,200(900)円、高校生700(500)円、65歳以上800(600)円。( )内は20名以上の団体料金。中学生以下、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料。毎月第3水曜日は65歳以上無料。

**会場** 東京都美術館 企画展示室  
**休室** 月曜日(祝日の場合は翌日)  
**主催** (財)東京都歴史文化財団 東京都美術館、NHK、NHKプロモーション  
**後援** 外務省、イタリア大使館、イタリア文化会館  
**協賛** 大日本印刷、三井住友海上火災保険  
**協力** 日本貨物航空、日本航空



### ココが見どころ!

枢機卿の情熱的な収集に端を発するボルゲーゼ・コレクション。同美術館の収蔵品がまとめてイタリア国外に出されるのは、今回が初めての試みです。ラファエロやカラヴァッジョなど、ルネサンス・バロックの巨匠たちの貴重な作品が一堂に会する本展に、ぜひご期待ください。

東京都美術館 学芸員 中原淳行

### おすすめスポット

#### 美術図書室

ラファエロやカラヴァッジョの画集を見たい方や、ルネサンス・バロック美術についてより深く知りたい方は、美術図書室へどうぞ。美術全集や研究書、雑誌のバックナンバー、展覧会カタログのほか、他館で開催中の展覧会チラシもご覧いただけます。

**開室時間** 10:00~17:00 **休室** 第1・3月曜。3月1日～ ※貸出・コピー不可。





## 東京文化会館 コラボレーションコンサート H・アール・カオス×大友直人×東京シティ・フィル

1月30日(土) **開演**:17:00(開場16:30)

既成のジャンルや表現形式にとらわれず、クラシック音楽と舞台芸術の新たな芸術を創造するプロジェクト。今回は、2005年、2008年のコラボレーションコンサートで実現した、H・アール・カオスと大友直人&フルオーケストラの共演が三たび実現。「ボレロ」、「中国の不思議な役人」の2作品の再演に、新作「瀕死の白鳥」を加えた豪華絢爛なプログラム。

**構成・演出・振付**:大島早紀子(H・アール・カオス) **出演**:指揮/大友直人、舞踊/白河直子、木戸紫乃、小林史佳、斉木香里、泉水利枝、池成愛、野村真弓、管弦楽/東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 **演出**:「中国の不思議な役人」新演出・新振付/バルトーク、「瀕死の白鳥」world premiere/サン＝サーンス(「動物の謝肉祭」より「白鳥」)、「ボレロ」/ラヴェル **会場**:東京文化会館 大ホール **料金**:全席指定S席7,000円、A席5,000円、B席3,000円、Ex席1,000円 **主催**:東京文化会館(財団法人東京歴史文化財団)



「ボレロ」



堀米ゆず子(ヴァイオリン)©影田正道



堤剛(チェロ)©K.Miura

## 東京文化会館 レクチャーコンサート 「作曲家の挑戦」シリーズ

1月15日(金) **開演**:19:00(開場18:30)【形式からの飛翔】

第4回 堀米ゆず子(ヴァイオリン)

3月5日(金) **開演**:19:00(開場18:30)【無伴奏チェロの探訪】

第5回 堤剛(チェロ)

第一線で活躍するアーティストの演奏とレクチャーを楽しむシリーズ「レクチャーコンサート」。「作曲家の挑戦」をテーマにした今シリーズでは、第4回をヴァイオリニストの堀米ゆず子が担当。ソナタに込められたブラームスの思いや、シャコンヌに秘められたバッハの意図に迫ります。また第5回はチェリストの堤剛が、18～20世紀における作曲家たちのチェロとチェリストへの挑戦を紹介します。

第4回 堀米ゆず子(ヴァイオリン) / **曲目**:ブラームス/F.A.E.ソナタより「スケルツォ」 ハ短調、他 **会場**:東京文化会館 小ホール **料金**:S席3,800円、A席2,800円、B席完売 第5回 堤剛(チェロ) / **曲目**:J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲第6番、他 **会場**:東京文化会館 小ホール **料金**:S席3,800円、A席2,800円、B席完売 **主催**:東京文化会館(財団法人東京歴史文化財団)



### ココが見どころ!

H・アール・カオスといえば「ボレロ」! 有名なメロディーに、幻想的な赤と黒の舞台、そこに白く浮かび上がる白河直子さんの身体美。まばたきを忘れるほどの迫力と高揚感に圧倒され、しばし呆然。このドキドキ感を是非味わってください。まさに奇跡、待望の再演です。

東京文化会館事業企画課事業係 古川由布

## 第7回東京音楽コンクール 優勝者コンサート

2月11日(木) **開演**:14:30(開場14:00)

またのき  
**極木亜裕美**(クラリネット、木管部門第1位)

ウェーバー/クラリネット協奏曲第1番 ヘ短調 Op.73

**大島亮**(ヴィオラ、弦楽部門第1位)

バルトーク/ヴィオラ協奏曲(遺作)

**清水理恵**(ソプラノ、声楽部門第1位)

グノー/歌劇「ロメオとジュリエット」より「私は夢に生きたい」他

**加藤大樹**(ピアノ、ピアノ部門第1位)

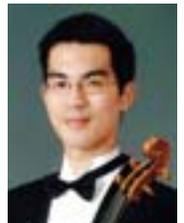
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 Op.26

東京文化会館では、読売新聞社、花王株式会社、東京都の四者が共催して、毎年、可能性に富んだ新人音楽家を発掘、彼らが芸術家として自立できるよう育成し、支援することを目的とした「東京音楽コンクール」を開催しています。この「優勝者コンサート」は、コンクールで第1位を獲得した音楽家たちだけが立つことのできる晴れの舞台。課題曲を演奏しなければならないコンクール本選とは異なり、優勝者自身が選んだ得意な楽曲を、オーケストラと共演します。今年は、クラリネットの極木亜裕美、ヴィオラの大島亮、ソプラノの清水理恵、ピアノの加藤大樹が、梅田俊明の指揮する東京都交響楽団と共演。次代を担う音楽家たちのフレッシュな演奏に耳を傾けるとともに、彼らのさらなる飛翔をみなさんと一緒に応援してください。

**出演**:クラリネット/極木亜裕美、ヴィオラ/大島亮、ソプラノ/清水理恵、ピアノ/加藤大樹、指揮/梅田俊明、管弦楽/東京都交響楽団、司会/井上富美子 **会場**:東京文化会館 大ホール **料金**:2,000円(全席指定) **主催**:東京文化会館(財団法人東京歴史文化財団)、読売新聞社、花王株式会社、東京都 **協賛**:株式会社コンサートサービス、サントリーホールディングス株式会社、東京ガス株式会社、東京地下鉄株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、森平舞台機構株式会社



極木亜裕美(クラリネット)



大島亮(ヴィオラ)



清水理恵(ソプラノ)



加藤大樹(ピアノ)

### おすすめスポット

#### 東京文化会館音楽資料室

クラシック音楽を中心に民族音楽、邦楽、舞踊などの資料を無料で閲覧・視聴できる音楽資料室。1961年のオープン以来、数少ない音楽専門の図書館として知られています。2011年の開館50周年を機に、当館で上演した全公演情報を検索できるアーカイブシステムを整える予定です。

**利用時間**:13:00~20:00(火~土) 13:00~17:00(日・祝)

**休室日**:毎週月曜日(その他に不定期で休室する場合があります。) **TEL**:03-3828-2111(代表)





## 『農業少女』

3月1日(月) — 31日(水)

東京芸術劇場の芸術監督・野田秀樹が2000年に上演した『農業少女』。この戯曲を、「大人計画」の主宰者であり、現在、映画や小説など多方面で活躍中の鬼才・松尾スズキが演出します。キャストは東京に出てきた農家の娘・百子役に今注目の若手女優・多部末華子、謎のボランティア活動家ツツミ役に個性派俳優・吹越満ら、楽しみな顔ぶれが並びます。欲望と妄想の都市にうずまき現代日本の深層が、百子を中心にスピーディかつ濃密に描き出されます。

**作:**野田秀樹 **演出:**松尾スズキ **出演:**多部末華子、山崎一、江本純子、吹越満 **会場:**東京芸術劇場 小ホール1 **料金:**全席指定6,500円、サイドシート3,000円 **主催:**東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団)、東京都/財団法人東京都歴史文化財団 **チケット取扱:**東京芸術劇場チケットサービス他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



多部末華子 山崎一



江本純子 吹越満

## 芸劇 eyes

富士山アネット Produce『EKKKYO-!』1月14日(木) — 17日(日)  
モダンスイマーズ『凡骨タウン』2月5日(金) — 21日(日)

東京芸術劇場が目にする新たな才能を紹介する「芸劇 eyes」。1月は、パフォーマンスユニット・富士山アネットの長谷川寧がセレクトした『EKKKYO-!』を発表します。演劇、ダンスなどひとつの枠に収まらない、さまざまなジャンルを越境した団体がそれぞれ15分前後のショートピースを上演します。2月は、旗揚げ10年目となるモダンスイマーズが登場です。萩原聖人、緒川たまきらとともに、演出家の蓬萊竜太が描き下ろした人間ドラマ『凡骨タウン』を上演します。

『EKKKYO-!』/企画・構成:長谷川寧 **出演:**富士山アネット、ままごと、ライン京急、CASTAYA Project、岡崎藝術座、モモンガ・コンプレックス **会場:**東京芸術劇場 小ホール1 **料金:**全席自由前売3,000円、学生2,500円 **チケット取扱:**東京芸術劇場チケットサービス他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。『凡骨タウン』/作・演出:蓬萊竜太 **出演:**モダンスイマーズ、萩原聖人、千葉哲也、緒川たまき、佐藤めぐみ、辰巳智秋、他 **会場:**東京芸術劇場 小ホール1 **料金:**4,200円(全席指定) **チケット取扱:**東京芸術劇場チケットサービス、他 ※公演スケジュール等、詳細はホームページをご覧ください。



富士山アネット



モダンスイマーズ



### ココが見どころ!

野田秀樹芸術監督就任記念プログラムの最後を締めくくるのは、2000年初演の野田作品「農業少女」。初演時に役者として参加していた鬼才、松尾スズキがどのように演出するのか!? 注目の「芸劇 eyes」シリーズも含め、今年度終盤に向けて、まだまだ見逃せないラインナップが続きます! 東京芸術劇場 事業係 栗原千波

## 東京芸術劇場&読売日響 ニューイヤーコンサート 2010

1月17日(日) 開演:14:00(開場13:30)

東京芸術劇場と読売日本交響楽団が送るニューイヤーコンサート。お得感満点の時代を超えた名曲の数々を、ソプラノ歌手の小川里美とともにお送りします。

**出演:**指揮/川瀬賢太郎、ナビゲーター&ソプラノ/小川里美、ピアノ/北村朋幹、管弦楽/読売日本交響楽団 **曲目:**グリンカ/「ルスランとリュドミラ」序曲、チャプリエ/狂詩曲「スペイン」、他 **会場:**東京芸術劇場 大ホール **料金:**S席3,500円、A席2,500円 **主催:**東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) **チケット取扱:**東京芸術劇場チケットサービス他



小川里美@Kei Uesugi

## ショパン生誕200年記念 東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 Vol.7

3月7日(日) 開演:15:00(開場14:30)

オリジナル楽器による演奏会。2010年が生誕200年のショパンのピアノ協奏曲を、オーケストラ、ピアノともに当時の楽器で再現します(オリジナル楽器による日本初演)。

**出演:**指揮/有田正広、ピアノ/仲道郁代(使用楽器:プレイエル社製、1839年バリ) **曲目:**ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲集「四季」から春(solo:戸田薫)、ショパン/ピアノ協奏曲第2番 へ短調 Op.21、他 **会場:**東京芸術劇場 大ホール **料金:**S席4,000円、A席3,000円、B席2,000円 **主催:**東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団) **チケット取扱:**東京芸術劇場チケットサービス他



仲道郁代@photo Kiyotaka Saito

## ランチタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.84 1月21日(木) 出演:オルガン/小林英之

Vol.85 2月16日(火) 出演:オルガン/新山恵理

Vol.86 3月25日(木) 出演:オルガン/小林英之、ヴァイオリン/緒方恵  
いずれの回も開演:12:15 (開場11:45)

ランチタイムの12時15分から30分間、東京芸術劇場が誇る世界最大級のパイプオルガンを無料で楽しめるコンサートです。心が休まるオルガンの音色をご堪能ください。

**料金:**無料 **主催:**東京芸術劇場(財団法人東京都歴史文化財団)  
※曲目等、詳細はホームページをご覧ください。



『クラシカル・プレイヤーズ東京』  
使用楽器:プレイエル社製、  
1839年バリ

### おすすめスポット

#### 東京芸術劇場チケット&グッズ・ショップ

東京芸術劇場1階にあるチケット&グッズ・ショップ。劇場公演や映画等の各種チケットの販売をはじめ、演劇・音楽等に関する書籍についても充実の品ぞろえが自慢です。大切な人への贈り物として可愛らしい小物を買っていくお客様も多く、私たちスタッフは「小さなスペースで大きな思い出を」をモットーに笑顔でお客様をおもてなしています。

**営業時間:**10:00~19:00(火~土) 10:00~18:00(日・祝) **TEL:**03-5985-1707



## EXPERIMENTAL SOUND, ART & PERFORMANCE FESTIVAL

2月17日(水) — 28日(日)

トーキョーワンダーサイトでは、若手のアーティストや音楽家がジャンルを超えて新しい音楽表現を創造し発信する場として、2006年度よりこのフェスティバルを実施しています。パフォーマンス、映像やサウンドとのコラボレーション、現代音楽など、ジャンルを横断したさまざまな公演企画の応募があった中から、今年度は17企画が選出されました。斬新で実験的な新しい表現の可能性を試みる多種多様な公演が、2週間にわたって繰り広げられます。これまで感じたことのない、未知なる表現との出会いをご期待ください。

**入場料:**公演により異なる(詳細はホームページをご参照ください) **会場:**トーキョーワンダーサイト本郷 **主催:**(財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト **助成:**(財)アサヒビル芸術文化財団

## Emerging Artist Support Program 2009 第4回展覧会企画公募

3月6日(土) — 4月25日(日)

展覧会の企画者(キュレーター)を志す方の支援育成を目的に、展覧会の企画を広く公募して、2006年度より毎年行っているプログラムです。これまでの応募には、新しい芸術表現を試みる、アーティスト本人のセルフプロデュース企画もありました。4回目となる今回も昨年度に引き続きキュレーション部門とセルフプロデュース部門の2部門を設置し、企画を募集しました。33企画の応募総数のうち、選出された3企画の展覧会を実施します。

**入選者:**土橋素子・仲島香 / 「Deep Dig Dug」 オル太(平文祥晴) / 「オル太の田」 菊地容作 / 「MEAT SHOP SPY / ミートショップスパイ」 **入場料:**無料 **会場:**トーキョーワンダーサイト本郷 **休館:**月曜日(祝日の場合は翌日) **主催:**(財)東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト



つむぎね〈そう〉 EXPERIMENTAL SOUND, ART & PERFORMANCE FESTIVAL 2008年度受賞記念公演(最優秀賞)の様子  
2009年5月24日、トーキョーワンダーサイト渋谷 Photo: Toshiya Suda



ゾルゲルプロ(ゾルゲル音楽)  
EXPERIMENTAL SOUND, ART & PERFORMANCE FESTIVAL 2008年度受賞記念公演(特別賞)の様子、2009年5月24日、トーキョーワンダーサイト渋谷 Photo: Toshiya Suda



「オル太 FIRST EXHIBITION」展示写真  
(2009年)



### ココが見どころ!

公募で選ばれた若手アーティストの作品を、展覧会場で展示し、販売する「ワンダーシード2010」(旧「0号展」)を、3月6日(土)~20日(土)、トーキョーワンダーサイト渋谷にて開催します。本展は「BUY=SUPPORT」をコンセプトに、若手アーティストの作品と多くの美術愛好家が会える場として始まりました。自分だけのユニークな作品を探しに、ぜひご来館ください。

### おすすめスポット

#### インターナショナル・アンサンブル・モデルン・アカデミー 2009

世界最高峰の現代音楽アンサンブルと評される、ドイツの「アンサンブル・モデルン」。若い音楽演奏家のための音楽アカデミーを、トーキョーワンダーサイト青山で今年度も実施します。世界最先端の音楽表現を、密度の高いカリキュラムで学べる機会となっています。**開催日:**3月22日(月)~28日(日) **受講料:**有料(応募要項はホームページをご参照ください) **会場:**トーキョーワンダーサイト青山









# 東京文化発信プロジェクト



TOKYO CULTURE CREATION PROJECT

東京文化発信プロジェクトは、東京ならではの芸術文化の創造・発信、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的として、東京都と(財)東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

## パフォーマンスキッズ・トーキョー 発表公演

3月7日(日) 会場: 東京芸術劇場 アーティスト: 岩淵多喜子(振付家・ダンサー)

3月30日(火) 会場: 保谷こもれびホール アーティスト: 楠原竜也(振付家・演出家・ダンサー)

ダンスや演劇のプロによる子供対象のワークショップ。子供たちが本物のアーティストと触れ、仲間とのコミュニケーションを深めながら舞台作品を作ります。



昨年度の発表公演の様子 ©雷田平

入場料: 無料 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち ※観覧は事前予約制を予定。詳細はホームページ [http://www.bh-project.jp/festival/jpn/event/data/kids\\_tokyo2009](http://www.bh-project.jp/festival/jpn/event/data/kids_tokyo2009) をご覧ください。

## キッズ伝統芸能体験 発表会

3月22日(月・祝) <能楽> 会場: 宝生能楽堂

3月29日(月) <日本舞踊、箏曲、長唄三味線> 会場: 国立劇場大劇場

伝統芸能の一流の芸術家から指導を受けた子供たちが8ヶ月間にわたる稽古を積み重ね、3月に「ひのき舞台」でその成果を発表します。会場ごとにプロの実演家による舞台もご鑑賞いただけます。



昨年度の発表会の様子(能楽)

入場料: 無料(事前申込必要) 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、社団法人日本芸能実演家団体協議会 ※詳細はホームページ <http://www.bh-project.jp/festival/jpn/event/data/kids2009> をご覧ください。

## 六本木アートナイト 2010

3月27日(土) — 28日(日)

会場: 六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館、サントリー美術館、森美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴。インスタレーション、音楽、映像、舞台芸術など、街中に点在する多様なアートで非日常的な体験を楽しめます。



入場料: 無料(一部の美術館企画展およびプログラムは有料) 主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会 ※詳細は公式ホームページ <http://www.roppongiartnight.com/> をご覧ください。



Photo: 齋木克裕

都市の新しい「水上経験」をテーマに、私たちは東京の水辺に関する社会性の高いアクションリサーチを進めています。様々な形で都市水面に触れる機会をつくり、使い方の方法を広く共有していくこと。BOAT PEOPLE Associationと一緒に、考えてみませんか。

<http://www.bh-project.jp/artpoint/program/complex.html>

東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当 渡辺真也

<http://www.bh-project.jp>  
TEL:03-5638-8800(東京文化発信プロジェクト室)

## Tokyo Art School

第6回 1月16日(土) 「壁」の無い東京へ

塚本由晴(アトリエ・ワン/建築家)×安富歩(東京大学東洋文化研究所教授/社会生態学者)

第7回 2月20日(土) 共生のための環境へ

藤浩志(美術家)×飯島博(NPO法人アサザ基金 代表理事)

第8回 3月13日(土) 「テクノロジー・情報・身体」

藤高晃右(Tokyo Art Beat・NY Art Beat共同設立者)

×ドミニク・チェン(NPO法人クリエイティブ・commons・ジャパン理事/株式会社ディヴィデュアル共同設立取締役)



Photo: 越間有紀子

各分野の専門家とともに、今まで思いもよらなかったユニークな視点から「東京」像を探るレクチャーシリーズ。東京に潜む新たな文化力を発見してください。

主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT] ※詳細は公式ホームページ <http://www.bh-project.jp/artpoint/lecture/index.html> をご覧ください。

## 東京都歴史文化財団からのお知らせ

### ●(財)東京都歴史文化財団をご支援いただいている皆様(2009年12月現在)

- 株式会社 東京ビッグサイト
- 東京都職員信用組合
- 株式会社トータルテクノジャパンHDS
- 財団法人 東京都道路整備保全公社
- 株式会社 はとバス
- 他5団体

\*支援金は、当財団が自主的に実施するさまざまな文化事業に役立てております。\*ご支援いただいた方には、さまざまなサービスを提供いたします。\*随時ご支援(1口50,000円)を受け付けております。個人・法人を問いません。\*匿名希望の方のお名前は掲載していません。<http://www.rekibun.or.jp/support>

### ●パートナーシップにご入会いただいている学校(2009年12月現在)

- 跡見学園女子大学
- 大正大学
- メイ・ウシヤマ学園
- マネジメント学部
- 東京造形大学
- ハリウッド大学院大学
- 国際基督教大学
- 東京ビューティーアート専門学校
- ハリウッドビューティー専門学校
- 首都大学東京
- 花田学園
- 立教大学
- 昭和女子大学
- 武蔵野美術大学
- 立正大学

\*ご入会いただいた学校の学生は、当財団所管の美術館・博物館の常設展に無料で入場できます。また、事前のお申し込みとお打ち合わせによって、教育活動の連携、コンサートや演劇の割引、常設展ガイドツアーの参加、学芸員資格取得のための実習生受け入れ(1校1名)など、さまざまなサービスを提供いたします。(詳細についてはご相談の上、決定いたします) <http://www.rekibun.or.jp/promotion/partner.html>

# 地図&インフォメーション

財団法人 東京都歴史文化財団 トーキョー・アート・ナビゲーション  
<http://www.rekibun.or.jp> <http://tokyoartnavi.jp>

(財)東京都歴史文化財団管轄施設の観覧料について(対象:東京都庭園美術館の庭園、東京江戸東京博物館、江戸東京たてもの園及び東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の取覧展・映像展)  
 ●都内在住・在学の中・小学生は無料。●65歳以上の方は、一般料金の半額。●毎月第3土曜、第3日曜(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額。●観覧料の記載がない場合は、展覧会、催物によって金額が異なります。

## 01 東京都美術館 TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



TEL: 03-3823-6921 WEB: <http://www.tobikan.jp> 所在地: 〒110-0007台東区上野公園8-36 開: 9:00-17:00 休: 毎月第3日曜日、企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・工事休館日 交通: JR上野駅公園口より徒歩7分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分 / 京成電鉄上野駅より徒歩10分

## 02 東京文化会館 TOKYO BUNKA KAIKAN



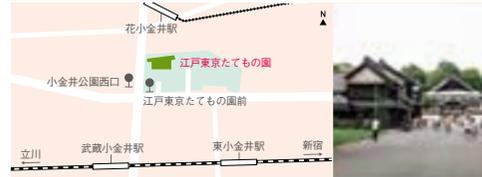
TEL: 03-3828-2111 WEB: <http://www.t-bunka.jp> 所在地: 〒110-8716台東区上野公園5-45 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日・他 交通: JR上野駅公園口より徒歩1分 / 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩5分 / 京成電鉄上野駅より徒歩5分

## 03 東京都江戸東京博物館 TOKYO METROPOLITAN EDO-TOKYO MUSEUM



TEL: 03-3626-9974 WEB: <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp> 所在地: 〒130-0015墨田区横綱1-4-1 開: 9:30-17:30(土・19:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・国技館で大相撲本場所開催中は閉館 観覧料: <常設展>一般600円・大学生480円・65歳以上300円・中・高校生300円・小学生・都内中学生無料 交通: JR両国駅西口より徒歩3分 / 都営大江戸線両国駅A4出口より徒歩1分

## 11 江戸東京たてもの園 EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

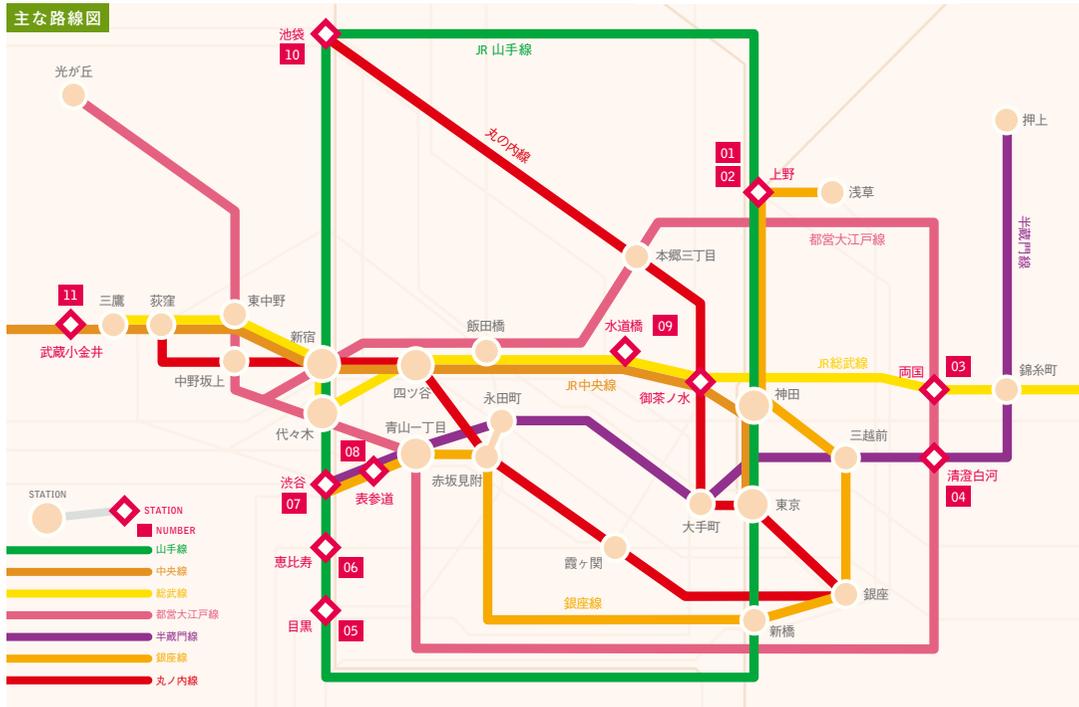


TEL: 042-388-3300 WEB: <http://www.tatemonoen.jp> 所在地: 〒184-0005小金井市桜町3-7-1 開: 9:30-17:30(10~3月・16:30) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 一般400円、大学生320円、65歳以上200円、中・高校生200円、都内中・小学生無料 交通: JR武蔵小金井駅北口よりバス、2・3のりばより「小金井公園西口」下車徒歩5分、4のりばより「江戸東京たてもの園前」下車徒歩3分 / 西武新宿線花小金井駅南口よりバス、「南花小金井」小金井街道沿いバス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分

## 10 東京芸術劇場 TOKYO METROPOLITAN ART SPACE



TEL: 03-5391-2111 WEB: <http://www.geigeki.jp> 所在地: 〒171-0021豊島区西池袋1-8-1 開: 9:00-22:00 休: 年末年始・保守点検日(毎月2日間程度)・工事休館日(6月12日間程度) 交通: JR・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ丸の内線・有楽町線・副都心線池袋駅西口より徒歩2分



## 04 東京都現代美術館 MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO



TEL: 03-5245-4111 WEB: <http://www.mot-art-museum.jp> 所在地: 〒135-0022江東区三好4-1-1 開: 10:00-18:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始・保守点検日 観覧料: <常設展>一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 交通: 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分 / 都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分 / 東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分 / 「木場駅」バス停から(業10)「業平橋駅前」行、(東20)「錦糸町駅前」行 / JR東京駅丸の内北口よりバス「錦糸町駅前」行 / JR錦糸町駅よりバス「東京駅丸の内北口」行(すべて「東京都現代美術館前」下車)

## 05 東京都庭園美術館 TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM



TEL: 03-3443-0201 WEB: <http://www.teien-art-museum.ne.jp> 所在地: 〒108-0071港区白金台5-21-9 開: 10:00-18:00 休: 第2・第4水曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: 都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 / JR・東急目黒線目黒駅東口より徒歩7分

## 09 トーキョーワンダーサイト本郷 TOKYO WONDER SITE HONGO



TEL: 03-5689-5331 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒113-0033文京区本郷2-4-16 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR御茶ノ水駅・水道橋駅、東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅、都営大江戸線本郷三丁目駅各駅よりそれぞれ徒歩7分

## 08 トーキョーワンダーサイト青山 TOKYO WONDER SITE AOYAMA CREATOR-IN-RESIDENCE



TEL: 03-5766-3732 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0001渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山SOUTH棟3F 開: オープンスタジオ、レクチャー等開催時のみ一般公開 交通: 東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅B2出口より徒歩7分

## 07 トーキョーワンダーサイト渋谷 TOKYO WONDER SITE SHIBUYA



TEL: 03-3463-0603 WEB: <http://www.tokyo-ws.org> 所在地: 〒150-0041渋谷区神南1-19-8 開: 11:00-19:00 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分

## 06 東京都写真美術館 TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY



TEL: 03-3280-0099 WEB: <http://www.syabi.com> 所在地: 〒153-0062目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 開: 10:00-18:00(水・金・20:00) 休: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 交通: JR恵比寿駅東口より徒歩7分 / 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分